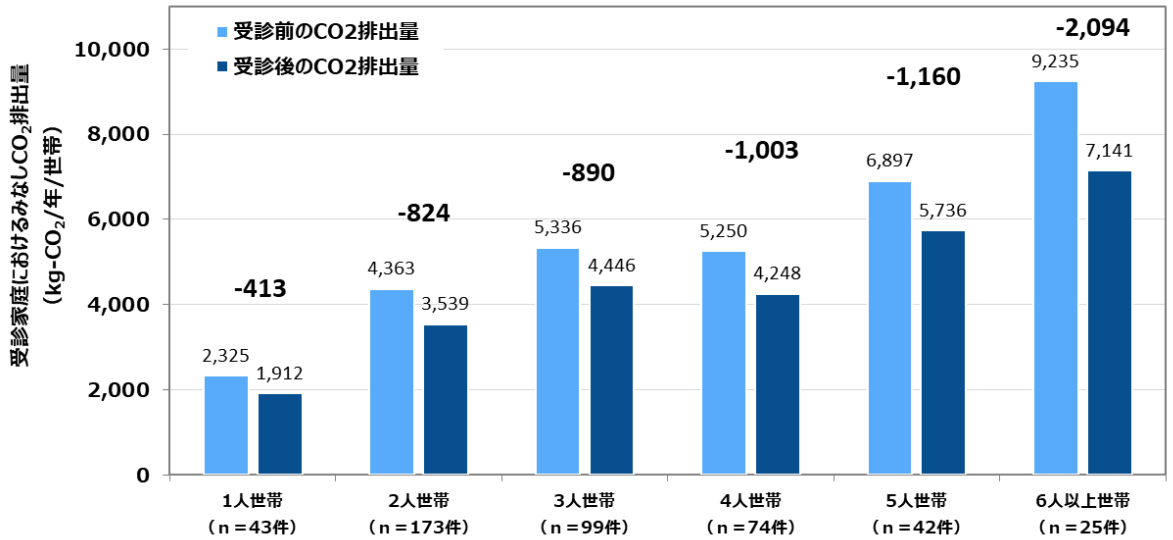
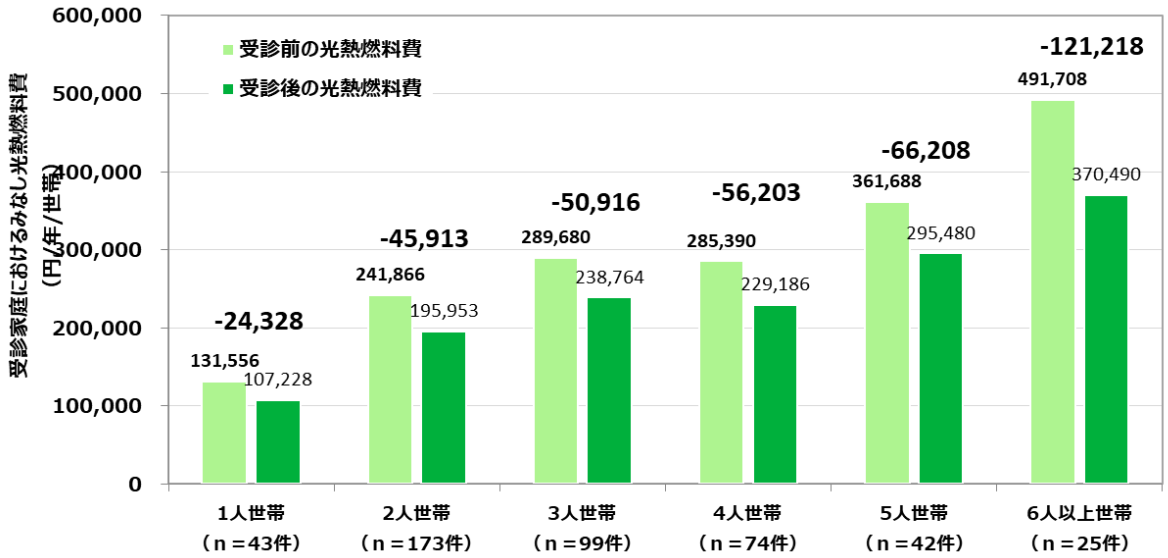
（1）うちエコ診断によるCO2排出削減効果及び光熱燃料費節約効果

○ 当公社では平成26年度から「うちエコ診断」を実施しており、毎年、前年度の診断結果の分析を行っている。
○ 近年、新型コロナウイルス感染症により「うちエコ診断」の実施件数が減少していることから、平成26～令和３年度に実施した「うちエコ診断」(**1,097件**)のうち、事後調査票*を**456件**回収した。 (令和４年11月28日時点)
○ 世帯人数の増加によって、CO2排出量及び削減量が大きくなる傾向となっている。また、光熱燃料費も同様である。

診断前後の受診家庭におけるみなしCO2排出量



診断前後の受診家庭における光熱費使用状況



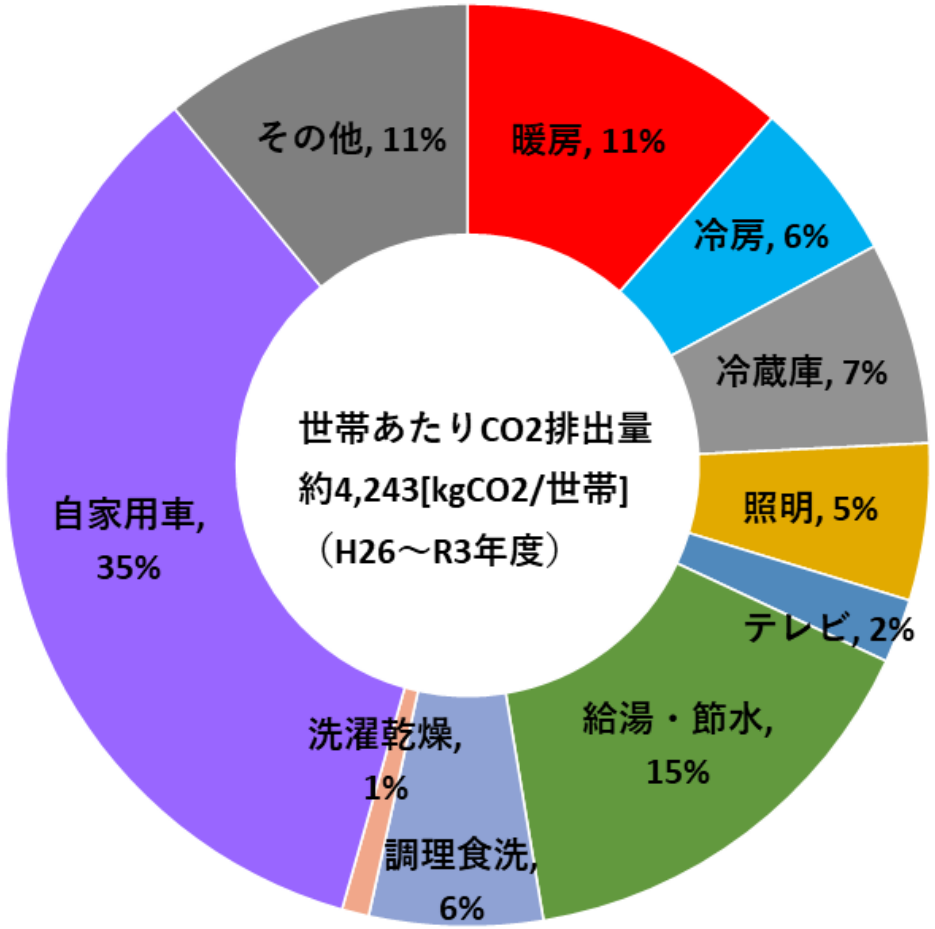
【参考】うちエコ診断を受診したことによる成果

受診世帯１世帯あたりのみなしCO2排出削減量	**929kg-CO2/年**
受診世帯１世帯あたりのみなし光熱燃料費節約効果	**52,632円/年**

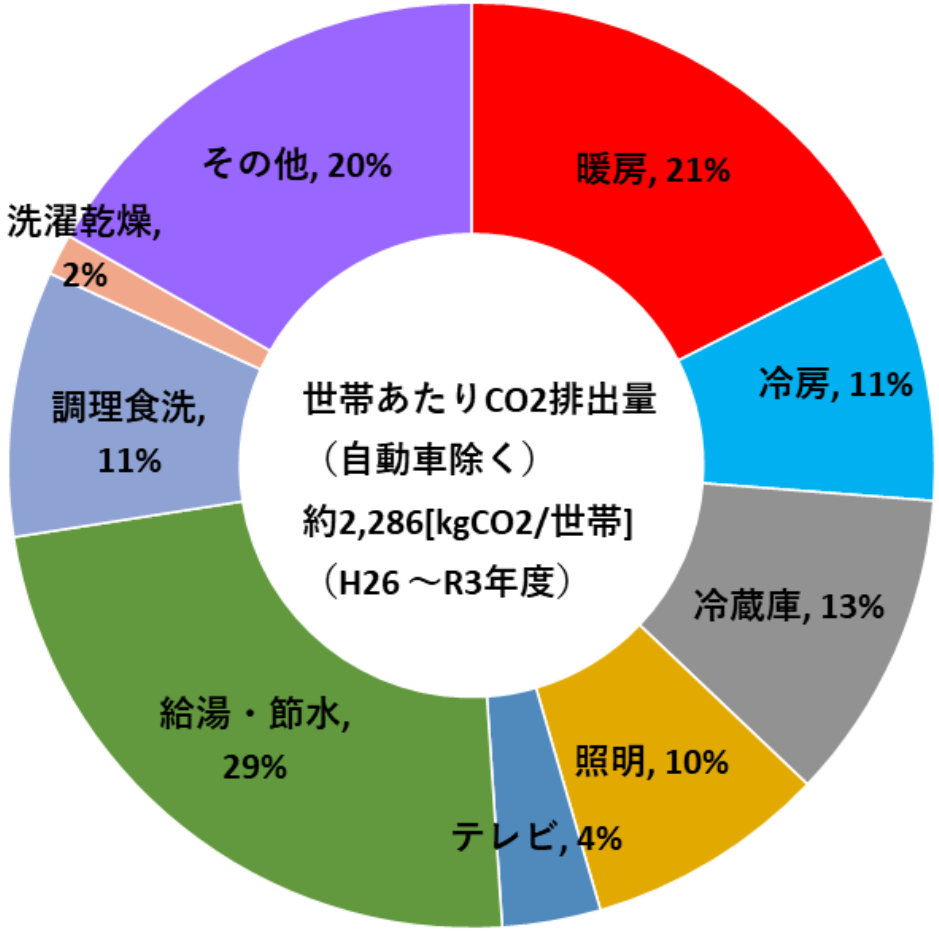
事後調査票：受診後３ヶ月を目安に、受診者を対象として家庭で取り組んだ温暖化対策を調査するもの。

（2）家庭からの推定CO2排出量割合

○ 用途別の推定CO2排出量割合では、自動車、給湯・節水、暖房の比率が大きく、次いで冷蔵庫となる。



【参考】
自家用車を除いた世帯あたりCO2排出量の割合



（3）うちエコ診断による対策ランキング

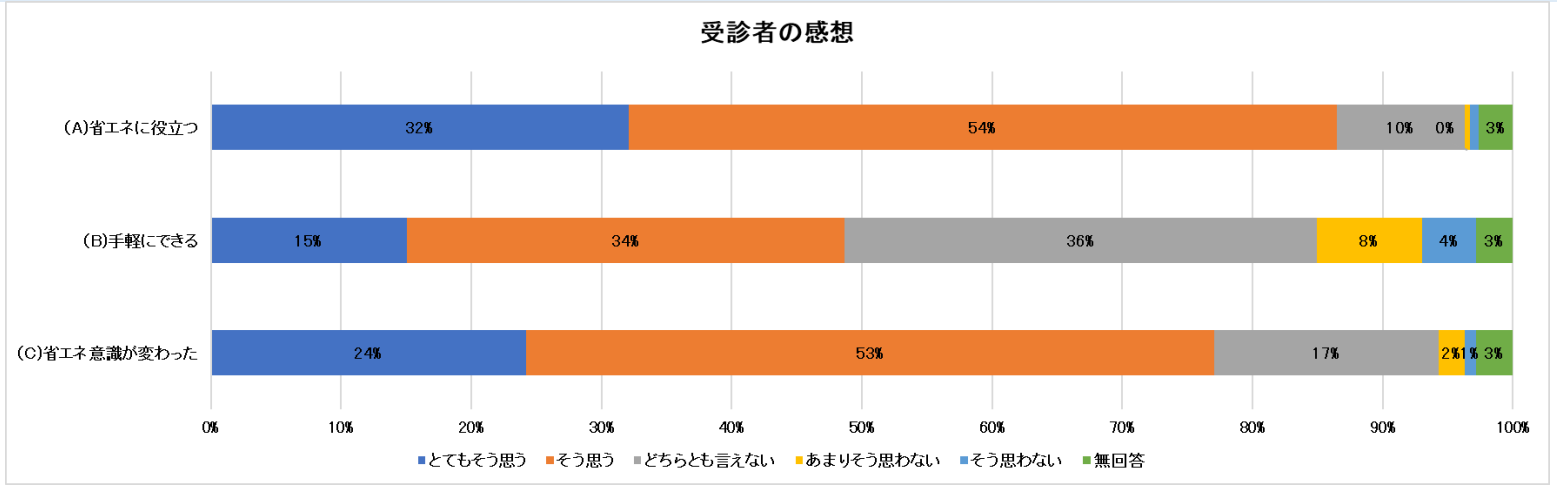
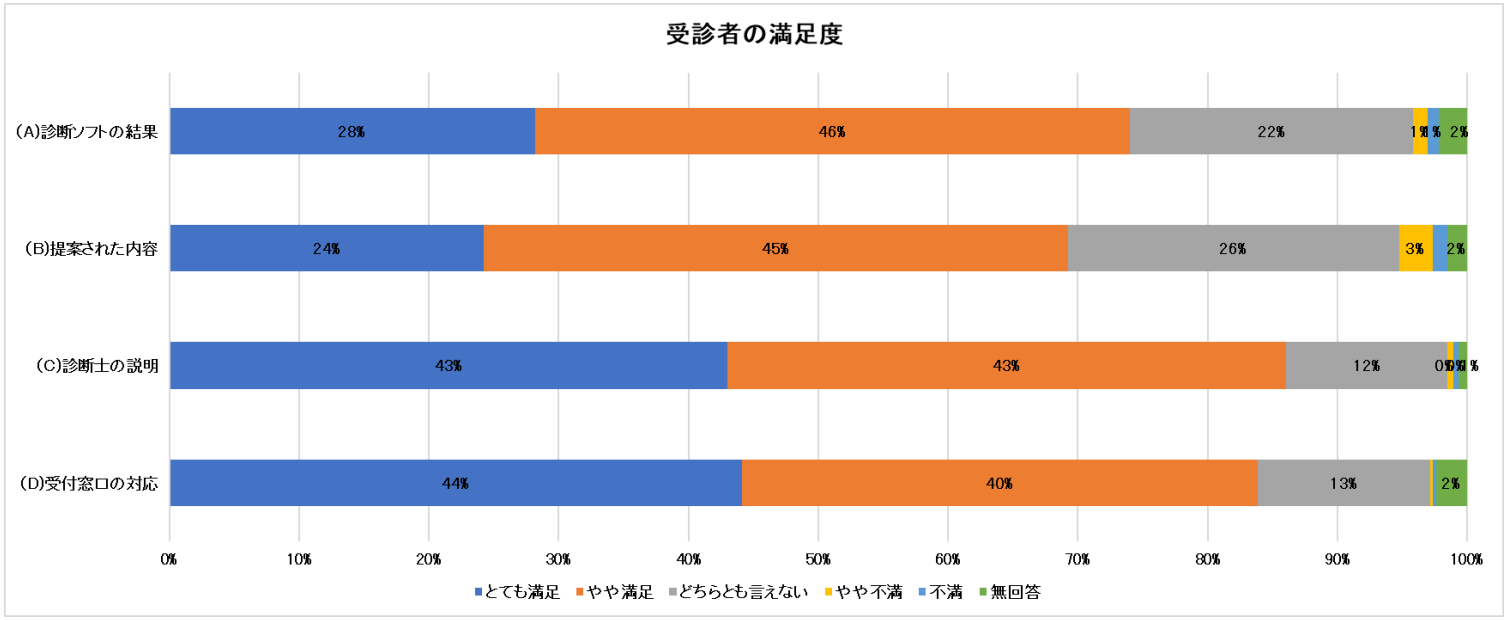
○ 対策の選択および実施される分野は「自家用車」が多い。

対策選択数ランキング

順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	598	237	40%
2	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	332	135	41%
3	冷暖房	扇風機を使いエアコンを3割減らす	259	76	29%
4	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	237	75	32%
5	自家用車	1日10分間のアイドリングストップをする	227	73	32%
6	冷蔵庫	冷蔵庫の設定を弱くする	219	65	30%
7	自家用車	タイヤの空気圧を適正に保つ	207	63	30%
8	冷蔵庫	冷蔵庫を省エネ型に買い替える	187	58	31%
9	給湯・節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	177	55	31%
10	給湯・節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	175	47	27%

対策実施数ランキング

順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	598	237	40%
2	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	332	135	41%
3	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	237	76	32%
4	自家用車	タイヤの空気圧を適正に保つ	207	75	36%
5	冷暖房	扇風機を使いエアコンを3割減らす	259	73	28%
6	自家用車	1日10分間のアイドリングストップをする	227	65	29%
7	冷蔵庫	冷蔵庫の開け閉めの回数を減らし、時間を短くする	166	63	38%
8	冷蔵庫	冷蔵庫の設定を弱くする	219	58	26%
9	給湯・節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	175	55	31%
10	給湯・節水	シャワーの時間を3割減らす	156	47	30%

（4）受診者の感想、満足度

○ うちエコ診断の実施により、省エネ意識の向上に繋がったが、「手軽にできる」や「提案された内容」の回答結果から、実施に対するハードルの高さがうかがえる。